Report (報 告)

愛媛県におけるエゾセンニュウ *Locustella fasciolata* と
マキノセンニュウ *L. lanceolata* の初記録

井戸 浩之*・今田 吉孝**・小畑 義之***

First Authentic Records of Gray's Grasshopper Warbler
Locustella fasciolata and Lanceolated Warbler *L. lanceolata*
in Ehime Prefecture, Japan

Hiroyuki Ido*, Yoshitaka Imada** and Yoshiyuki Obata***

Abstract. Abstract. The first records of Gray's Grasshopper Warbler *Locustella fasciolata* (three individuals) and Lanceolated Warbler *Locustella lanceolata* (three individuals) from Ehime Prefecture are reported, based upon bird banding research data and a collected carcass. Gray's Grasshopper Warbler was recorded in evergreen forest or bushes in September of three separate years, whereas the Lanceolated Warbler was recorded in beds in October of two years. These species are passage migrants in Ehime Prefecture.

Key words: Ehime prefecture, First record, *Locustella fasciolata*, *Locustella lanceolata*.

キーワード: 愛媛県, 初記録, エゾセンニュウ, マキノセンニュウ.

エゾセンニュウ *Locustella fasciolata* とマキノセンニュウ *L. lanceolata* は、日本には北海道に夏鳥として渡来し、エゾセンニュウは概ね6月初旬から9月まで、マキノセンニュウは概ね5月中旬から10月中旬まで生息しており、西日本では、2種とも旅鳥として通過していると考えられている(山階 1934, 日本鳥類目録編集委員会 2000)。

これら2種は藪に潜行する習性で観察や撮影が難しいためか、愛媛県では未だ報告がされていない。

筆者らは、1998年以来、愛媛県で鳥類標識調査を実施している。その結果、これら2種の愛媛県における記録について若干の例が得られたので報告する。四国全体での記録については、エゾセンニュウは、香川県で2例の観察記録(香川野鳥の会 1977, 香川県 1980)と1例の標識

Received 30 March 2009.

* 愛媛県立衛生環境研究所, 〒790-0003 愛媛県松山市三番町 8-234.

** 〒667-0003 兵庫県養父市八鹿町宿南 1263-9.

*** 〒537-0003 大阪府大阪市東成区神路 3-7-29.

* Ehime Prefectural Health Environmental Research Institute, 8-234 Sanban-cho, Matsuyama, Ehime 790-0003, Japan. E-mail: idohiro@yahoo.co.jp

** 1263-9, Shukuminami, Yoka-cho, Yabu, Hyogo 667-0003, Japan.

*** 3-7-29, Kamiji, Higashinari-ku, Osaka, Osaka 537-0003, Japan.

図 1. 愛媛県で捕獲されたエゾセンニュウ. A, B: 南宇和郡愛南町高茂岬 (1998 年 9 月 5 日 幼鳥), C: 愛媛県東温市井内 (2007 年 9 月 21 日 幼鳥), D: 愛媛県南宇和郡愛南町高茂岬 (2008 年 9 月 23 日 幼鳥).

Fig. 1. *Locustella fasciolata* captured in Ehime Prefecture. A, B: Juvenile, captured on Komomisaki, Ainan-cho, Minamiuwa-gun on 5 September, 1998. C: Juvenile, captured on Iuchi town-shi on 21 September 2007. D: Juvenile, captured on Komomisaki, Ainan-cho, Minamiuwa-gun on 23 September, 2008.

調査中の捕獲記録があり (岩田 2005), 徳島県で 3 例の春の囀り確認と 1 例の秋のぐぜりの記録 (日本野鳥の会徳島県支部 1988) および 1989 年 6 月 4 日の阿南市津乃峰山での囀りの確認 1 例の記録がある (吉田未発表)。マキノセンニュウは徳島県で 2 例の観察記録があるだけである (日本野鳥の会徳島県支部 1988)。

標識調査で捕獲した際には, 自然翼長, 最大翼長, 尾長, 跗蹠長の測定を行った。測定方法は山階鳥類研究所 (1991) に従い, 自然翼長については翼を自然な形態にたたんだ状態で測定する方法 (p. 76) で行った。最大翼長については翼を平らに押さえてのばし, さらに, 初列風切を真直ぐにのばした状態で測定する方法 (p. 78) で行った。尾長については尾羽を自然にたたみ, 2 枚の中央尾羽の間に薄い物差しの先端を差し込んで, 最長羽先端点までの長さを測定する方法 (p. 80) で行った。跗蹠長については, 図 8 跗蹠長の測定方法 (p. 83) で行った。測定は, 自然翼長, 跗蹠長はデジタルノギス (Mitutoyo CD67-S20PS) を用い, 最大翼長, 尾長は物差しを用い, 0.1 mm の単位で測定した。これらの測定値は付表 1 に示した。

エゾセンニュウの記録

2 地点の鳥類標識調査で以下の 3 例の捕獲記録が得られた。

- (1) 1998 年 9 月 5 日 愛媛県南宇和郡愛南町高茂岬 (32°54' N, 132°29' E)。

環境: 常緑広葉樹林, 落葉広葉樹林の混交林。 確認状況: 鳥類標識調査中に捕獲, 標

識後放鳥。性不明，幼鳥。足環番号：3A78791。愛媛県初記録。調査者：今田吉孝，小畑義之。

(2) 2007年9月21日 東温市井内 (33°45' N, 132°55' E)。

環境：休耕田（樹高2m程度の灌木林） 確認状況：鳥類標識調査中に捕獲，標識後放鳥。性不明，幼鳥。足環番号：3F10383。調査者：井戸浩之。

(3) 2008年9月23日 南宇和郡愛南町高茂岬 (32°54' N, 132°29' E)。

環境：常緑広葉樹林。 確認状況：鳥類標識調査中に捕獲，標識後放鳥。性不明，幼鳥。足環番号：3F10533。調査者：井戸浩之。

3例ともほぼオオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus* と同じ大きさであり，尾羽は凸尾で髭は細く短かった。尾羽先端の白斑は全く見られず，かつ尾羽に擦れはほとんど無かった。また，上面，下面いずれも縦斑は見られなかった。日本に生息する *Locustella* センニュウ属としては，オオセッカ *L. pryeri*，エゾセンニュウ，シベリアセンニュウ *L. certhiola*，シマセンニュウ *L. ochotensis*，ウチヤマセンニュウ *L. pleskei*，マキノセンニュウが認められている（日本鳥類目録編集委員会 2000）。山階（1934）によれば，オオセッカ，シベリアセンニュウ，マキノセンニュウは，背面に明瞭な縦斑があることから本個体と一致せず，シマセンニュウおよびウチヤマセンニュウについては尾羽先端に明瞭な白斑があることから本個体とは一致しなかった。よって，3例ともエゾセンニュウと識別できた。

本種の秋の渡りの時期における齢の識別点は，成鳥であれば初列風切が旧羽のままで磨耗し，下面は喉，胸に灰色味があり，バフ色がかった白色である。幼鳥であれば初列風切が新羽で，下面に黄色味がある（Svensson 1992）。今回の捕獲個体は下面に黄色味があり，頭骨の含気化も完了していなかったもので，幼鳥と判断した（Svensson 1992）。性別については不明である。

3例とも捕獲時期は9月であり，繁殖地から越冬地への移動中に愛媛県を通過したと思われる。1998年9月5日の記録については愛媛県での初記録と認められる。

現時点の愛媛県における春の記録は得られていないが，大分県水ノ子島の記録（川原 1983, 1995）や徳島県における囀りの記録4例は5月下旬～6月初旬で，これらは春の渡りの記録と思われる。愛媛県もこの時期に通過しているかもしれない。

マキノセンニュウの記録

松山市内の死体記録と松山市重信川中流に位置する河川敷での鳥類標識調査において以下の記録が得られた。

(1) 死体記録 2005年10月1日 松山市枝松。環境：住宅街。愛媛県初記録（山本 未発表）。

(2) 捕獲記録 2008年10月8日 松山市 市坪南 重信川河川敷 (33°48' N, 132°43' E)。捕獲個体数：2羽。環境：ツルヨシ群落。 確認状況：鳥類標識調査中に2羽を捕獲，標識後放鳥。2羽とも性不明，成鳥。足環番号：1E95313 および 1E95314。調査者：井戸浩之。

3羽とも尾羽は凸尾で髭は細く短かった。上面，喉，脇に明瞭な黒色の縦斑，下尾筒に黒色の直線的な縦斑があり，尾羽先端に白斑が無く，かつ尾羽に擦れは見られなかった。山階（1934）によれば，センニュウ属のうちエゾセンニュウ，シマセンニュウ，ウチヤマセンニュウは上面

図2. 愛媛県松山市市坪南 重信川河川敷で2008年10月8日に捕獲・標識されたマキノセンニュウ (A, B: 足環番号 1E95313, C, D: 足環番号 1E95314).

Fig. 2. Two *Locustella lanceolata* captured at a dry riverbed of the Shigenobu River in Ichitsu-bominami, Matsuyama-shi, Ehime on 8 October, 2008. A, B: Ring number 1E95313. C, D: Ring number 1E95314.

に明瞭な縦斑が無く、オオセッカについては下面に縦斑が無く、シベリアセンニュウについては尾羽先端に明瞭な白斑があることから本個体とは一致しなかった。よってマキノセンニュウと識別できた。

本種の秋の渡りの時期における年齢判定の基準は、成鳥は内側初列風切に旧羽が残り、喉、胸、脇に明瞭な黒色の縦斑があるが、幼鳥は初列風切が全て新羽で、喉、胸、脇の縦斑は若干不明瞭で、灰褐色であるとされる (Svensson 1992)。標識調査で捕獲された2例は、いずれも初列風切内側4枚が旧羽で、喉、胸、脇腹に明瞭な黒色縦斑が見られ(図2)、また頭骨の含気化についても完了していたので、成鳥と判断した。性別については不明である。

いずれの記録も10月であるため、繁殖地から越冬地への移動中に愛媛県を通過したと思われる。

謝 辞

マキノセンニュウの死体記録(未発表)については、山本貴仁氏からデータを提供いただいた。四国各県の記録については、岩田篤志氏、吉田和人氏から提供いただいた。また、エゾセンニュウの記録を得た東温市井内における調査は、環境省による第7回自然環境保全基礎調査(生物多様性調査)の委託により行なったものである。ここに記してお礼申し上げる。

引用文献

- 岩田篤志 2005. 鳥類標識調査によるエゾセンニュウ *Locustella fasciolata* の香川県初標識記録. 香川生物 32: 9-12.
- 香川県 1980. 香川県鳥獣目録. 香川県環境保健部自然保護課, 高松.
- 香川野鳥の会 1977. 香川県鳥類目録. 香川野鳥の会, 高松.
- 川原忠武 1983. 灯台と渡り鳥. 鳥と自然 31: 4-10.
- 川原忠武 1995. 「水ノ子鳥灯台で衝突死した渡り鳥の標本目録」. シラサギ記念自然史博物館, 浦和.
- 日本鳥類目録編集委員会 (編) 2000. 日本鳥類目録改訂第 6 版. 日本鳥学会, 帯広.
- 日本野鳥の会徳島県支部 1988. 徳島県鳥類目録 1987. 日本野鳥の会徳島県支部, 徳島.
- Svensson, L. 1992. *Identification Guide to European Passerines, fourth revised and enlarged edition*. Published by the author, Stockholm.
- 山階鳥類研究所 1991. 鳥類標識マニュアル (第 10 版). 財団法人山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階芳麿 1934. 日本の鳥類と其生態 第二巻. 岩波書店, 東京.

付表 1. エゾセンニュウとマキノセンニュウの測定値 (単位は mm).
Appendix 1. Measurements of *Locustella fasciolata* and *L. lanceolata*. (in mm).

種 Species	足環番号 Ring number	自然翼長 Natural wing length	最大翼長 Maximum wing length	尾長 Tail length	跗蹠長 Tarsus length
エゾセンニュウ <i>Locustella fasciolata</i>	3A78791	77.0	—	68.0	26.8
	3 F10383	70.4	74.8	63.0	25.2
	3 F10533	75.3	78.5	67.3	27.3
マキノセンニュウ <i>L. lanceolata</i>	1E95313	54.4	57.0	47.5	17.7
	1E95314	55.8	59.2	49.9	18.4